

大田桜台 高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教 科： 保健体育 科 目： 保健 単位数： 1 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：（1組：茂呂真史）（2組：茂呂真史）（3組：後藤良宏）（4組：茂呂真史）（5組：後藤良宏）

使用教科書：（現代高等保健体育（大修館書店））

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】個人及び社会生活に技能及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 （2）安全な社会生活 （3）生涯を通じる健康 【知識及び技能】 事故の現状と発生要因を知り、安全な社会の形成を目指し、個人の取組・地域の連携などが必要であることを理解できるようにする。応急手当の意義を理解し、日常的な応急手当及び心肺蘇生法の技術を習得する。思春期における性意識を理解し、それぞれの性を尊重し互いに認め合う態度を身に付ける。結婚生活におけるそれぞれの役割を理解し、計画的な妊娠・出産と避妊法を理解する。人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会生活に関わる事象や情報から課題を発見し、危険を回避したり傷害の悪化を防止したりする方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。思春期と健康について習得した知識をもとに、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために情報を適切に整理する。 【学びに向かう力、人間性等】 安全な社会生活、応急手当の意義、互いの性の尊重・理解などについて自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについて主体的な学びに向き合う、力を身に付ける。	指導事項 ・事故の現状と発生要因 ・安全な社会の形成 ・交通における安全 ・応急手当の意義とその基本 ・日常的な応急手当 ・心肺蘇生法 ・ライフステージと健康 ・思春期と健康 ・性意識と性行動の選択 ・妊娠、出産と健康 ・避妊法と人工妊娠中絶 ・結婚生活と健康 教材 ・教科書・保健ノート・単元プリント 一人1台端末の適宜活用 ・ICTを活用したアンケートの実施	【知識・技能】 ・日常的な応急手当、心肺蘇生法の用語や手順を理解し、技術を習得している。 ・それぞれの性を尊重し互いに認め合う態度を身に付ける。結婚生活におけるそれぞれの役割を理解し、計画的な妊娠・出産と避妊法を理解する。人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について理解している。 【思考・判断・表現】 安全な社会生活や生涯を通じる健康に関わる事象や情報から課題を発見し、危険を回避したり傷害の悪化を防止したり、健康の質の向上、健康を支える環境づくりなどと解決方法を関連付けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 安全な社会生活と生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	C 単元 （3）生涯を通じる健康 （4）健康を支える環境づくり 【知識及び技能】 健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題を発見し、労働災害や働く人の健康の保持増進を理解する。ストレスに対する気付きへの援助、メンタルヘルスケアの重要性を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 労働災害と健康について健康管理や食品安全管理に関わる取り組みを整理し、自他や社会の課題を発見している。 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し、判断するとともにそれらを表現する方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 働くことと労働災害の関係を知り、健康的な職業生活を送ることや食品安全衛生について考える力を身に付ける。環境問題に対して身近でできることや社会全体を通してできる主体的な身に付ける。	指導事項 ・中高年期と健康 ・働くことと健康 ・労働災害と健康 ・健康的な職業生活 ・大気汚染と健康 ・水質汚濁、土壌汚染と健康 ・環境と健康に関わる対策 ・ごみの処理と上下水道の整備 ・食品の安全性 ・食品衛生に関わる活動 教材 ・教科書・保健ノート・単元プリント 一人1台端末の適宜活用 ・ICTを活用したアンケートの実施	【知識・技能】 労働災害の種類や原因について例を挙げて説明することができる、防止するために必要なことをあげることができる。地球規模の健康問題や複合的な環境汚染の発生の仕組みについて説明できる。 【思考・判断・表現】 労働災害と健康について健康管理や安全管理に関わる取り組みを整理し、自他や社会の課題を発見している。 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し、判断するとともにそれらを表現する方法を選択し、それらを説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生涯を通じる健康と健康を支える環境づくりの学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	1

3 学 期	<p>E 単元 (4)健康を支える環境づくり</p> <p>【知識及び技能】 保健行政の役割や医療保健の仕組みについて理解し説明することができる。 医薬品の正しい使用方法や安全性を守る取り組みについて理解することができる。 健康の保持増進のための環境づくりへ向けた自分を含めた世界の人びとの健康の保持増進に繋がることを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 健康を支える環境づくりについて、課題の解決方法等をノートなどに記述するなどして道筋を立てられるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 わが国や地域の保健・医療の活用について理解を深めていく。また、健康を支えるためのさまざまな保健活動や社会的対策を知り、一人一人が主体的に社会参加できる力を身に付ける。</p>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健サービスとその活用 ・医療サービスとその活用 ・医薬品の制度とその活用 ・さまざまな保健活動や社会的対策 ・健康に関する環境づくりと社会参加 <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書・保健ノート・単元プリント 一人1台端末の適宜活用 ・ICTを活用したアンケートの実施 	<p>【知識・技能】 ・保健行政の役割や医療保健の仕組みについて理解し説明することができる。 ・医薬品の正しい使用方法や安全性を守る取り組みについて理解し、説明することができる。 ・健康の保持増進のための環境づくりへ向けた自分を含めた世界の人びとの健康の保持増進に繋がることを理解し説明することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 健康を支える環境づくりについて、課題の解決方法等をノートなどに記述するなどして道筋を立てて説明することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 健康を支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							35